

令和 年度 技術士第二次試験答案用紙

受験番号									
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●受験番号、技術部門、選択科目、専門とする事項及び問題番号の欄は必ず記入すること。

技術部門	部門
選択科目	
専門とする事項	

問題番号	Ⅲ-1
------	-----

← 解答する問題番号（1又は2）を点線の枠内に必ず記入すること。
○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

1. 多面的な課題																								
(1) いかに関係・協働を促進するか																								
人口減少が著しい自治体では、公共交通の需要が減少し、減便や廃線による交通空白地域が増加しつつある。採算性の低いエリアでの日常生活の移動を確保するためには、交通事業者のみでの移動サービスの提供が困難となってきた。よって、仕組み面の観点から関係・協働した移動サービスの提供が課題である。																								
(2) いかに関係を確保するか																								
長時間労働を是正し、安全な運行を行うため2024年度から改善基準告示の改正が適用された。ドライバーの拘束時間が短縮された一方、バス事業では人員不足のため、従来のダイヤ通りに運行ができず、路線の減便、廃止が危惧される。よって、人材面の観点から、ドライバーの確保が課題である。																								
(3) いかに関係化を活用するか																								
公共交通の利用者を増やすためには、単なる移動だけでなく、付加価値の創出が重要となってくる。そのため、IoT技術を活用した複数の交通手段や目的地との関係が求められている。よって、技術面の観点から、関係化の活用が課題である。																								
2. 最も重要な課題と解決策																								
投資が少なく、すぐに取り組むことができるため、「いかに関係・協働を促進するか」を最も重要な課題に選定し、以下に解決策を述べる。																								

●答案用紙の解答欄の枠内に記載した解答のみ採点対象とします。

24字×25字

令和 年度 技術士第二次試験答案用紙

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

バスとして住民の移動を支援する。地域に存在する輸送資源の総動員を図ることで、移動手段を確保する。

② バス路線の共同運営

同一エリア内に複数のバス事業者が重複して運行している場合、案内が煩雑となり利便性が低下する恐れがある。このため、関係事業者間で**独禁法特例法**に基づく共同経営計画を策定する。事業者間で路線やダイヤ、運賃の設定を行うことで、収支格差を縮小させ、効率的かつ利便性の高い輸送を実現させる。

(3) モビリティハブの形成

移動サービスを**充実させるため**、多様な交通モードが相互に連携**できる**モビリティハブを整備する。**例えば、鉄道利用者が、目的地へのラストワンマイルモビリティとしてシェアサイクル等を利用できるようにする**。また、MaaSを導入し予約から決済まで一連の手続きをシームレスにする。リンク機能の強化と連動させる**ことで**、質の高い公共交通サービスを提供する。

3. 新たなリスクと対応策

新たな交通モードを導入することにより、過剰供給や既存交通との競合が発生するリスクがある。解決策として、法定協議会のアップデートを図る。自治体や交通事業者に加え、目的地となりうる商業関係者等、分野横断的な体制を整備する。また、ICカード情報から乗降データを収集し、需要をコントロールする等、地域公共交通の司令塔機能を強化する。以上